

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		公衆トイレ維持管理				所管	都市づくり部 土木課		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.	計画事業名	事業の開始・終了年度				
	長期総合計画体系	[基本目標]				[事業開始] 昭和28年度			
		[小 柱]				[終了予定] - 年度			
		[施 策]							
	根拠法令等	法令(義務)	[法令等名]	廃棄物処理法、公衆便所の設置及び管理に関する条例					
	事業対象	公衆トイレ利用者							
	事業目的	公衆トイレの適正な維持管理を行うことで、利用者に快適な環境を提供する。							
	事業内容	26箇所の公衆トイレについて維持管理(設備補修、清掃等)を行う。 [公衆トイレ数] 平成25年度末現在 26箇所(公園トイレを除く) [利用者の要望] 23年度 13件 24年度 22件 25年度 37件							
委託の有無	一部委託	委託内容	公衆トイレ清掃委託						
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	簡易補修	件	30	37	32	45		
		トイレ清掃回数	回	23,500	23,445	23,319	23,457		
	成果指標	利用者の要望に対する対応した割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0		
	決算額	(単位：千円)			20,915	20,320	21,553		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト(人件費など)			8,298	4,582	5,113		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			20,916	20,320	21,553		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0	0	0		
		総経費			29,214	24,902	26,666		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	15				
一般財源(区負担額)			29,214	24,902	26,651				
前年度から改善した事項									
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	施設環境を維持するために、清掃や故障・破損時の即時対応は不可欠である。						
	効率性	3	清掃業者や区職員の見回りにより、早期に故障・破損箇所を発見しているため、補修費、光熱水費の軽減につながっている。						
	手段の適切性	3	利用者の快適な環境のために、日々の清掃や職員の見回りによる点検は欠かせない。						
	目的達成度	4	いたずらなどによる汚損等の苦情はあるが、設備補修、清掃により適時対応し、施設環境の維持に努めている。						
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大改善維持縮小廃止・終了		
現状の対応により施設環境は維持されている。故障、破損に対し即時の対応は不可欠であり、事業規模を維持していく。						維持			